

手をつなごう2008

平成21年2月16日

岡山県立東備養護学校
支援部だよりNO. 25

ネットワーク会議開催！ 瀬戸内市2月12日 備前・和気 13日



特別支援ネットワークの今年度のまとめとなるネットワーク会議が開催されました。例年は3つの地域合同で、前半は1年間の活動報告、後半は地域ごとの分科会という形で行っていました。

しかし、自立支援法の施行に伴い各市町村に設置された自立支援協議会が定着してきた現状から、この特別支援ネットワークの在り方も見直す時期が来ているのではないかと考えて、今回は地域別に実施し今後の特別支援ネットワークの在り方について協議することにしました。現在、瀬戸内市、備前・和気の特別支援ネットワーク会議が終了したところです。メンバーの皆さんは年度末の多忙な時期にもかかわらずご参加くださり、熱心な協議をいただきました。



他地域ではネットワークが自立支援協議会に移行した所も多いようですが、瀬戸内市の場合は来年度も同じ形で、ケースについての協議を深めていくことを確認しました。また、今年度「せとうち旭川荘」ができたことから、新しくメンバーに入っていただくようお願いしていくこと、どの機関がコーディネーターをするのが一番スムーズな運営につながるのか見直しをしていくことにしました。

また、生涯を通して支えるという視点から、人生のステージ毎のネットワークだけではなく、障害の種類によっては、その人の人生を縦に見通したネットワークが対応していきやすいのではないかと提案もいただきました。今後の課題として検討していきたいと思っています。

前半は全体で、卒業後の特別支援ネットワークを自立支援協議会に移行させることについて協議しました。どういう障害の方も、どの年齢の方も自立支援協議会でカバーできているかという課題はありますが、とりあえず卒業後の特別支援ネットワークを自立支援協議会に移行させることについては同意が得られました。

後半は「就学前・就学中」と「卒業後」に分かれて地域の課題や来年度ネットワークとして取り組んでいきたいことなどを話し合いました。就学前・就学中のグループでは和気町親の会、和気地域の学校・園、福祉関係の方もメンバーに入っていただくことなど、具体的な話も出ました。卒業後のグループでは、作業所等から、現在の不況で作業の確保に苦労していること、就労していた方が離職したときに支援を求めるのが難しいことなどの課題が話し合われました。

備前・和気



赤磐市の特別支援ネットワーク会議は2月27日に実施の予定です。

